

各 位

 会 社 名 桂 川 電 機 株 式 会 社  
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 渡 邊 正 禮  
 ( JASDAQ コード番号 : 6416 )

 問 合 せ 先 常 務 取 締 役 松 本 茂 弘  
 電 話 03-3758-0182

## 業績予想の修正及び繰延税金資産の取崩に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正

平成21年3月期 通期連結業績予想数値の修正

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	15,300	900	540	110	7.18
今 回 発 表 予 想 (B)	15,860	1,183	1,094	146	9.59
増 減 額 (B-A)	560	283	554	36	
増 減 率 (%)	3.7	31.5	102.7	33.6	
ご 参 考 : 前 期 実 績 (平成20年3月期)	20,930	2,635	2,428	1,243	81.17

平成21年3月期 通期個別業績予想数値の修正

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (単位:円)
前 回 発 表 予 想 (A)	9,800	△ 350	△ 690	△ 510	△ 33.28
今 回 発 表 予 想 (B)	9,834	△ 530	△ 442	△ 774	△ 50.54
増 減 額 (B-A)	34	△ 180	247	△ 264	
増 減 率 (%)	0.4	—	—	—	
ご 参 考 : 前 期 実 績 (平成20年3月期)	13,224	720	380	184	12.03

#### 業績予想の修正理由

##### (1) 連結

通期の世界経済情勢は、米国のサブプライム・ローン問題を発端とした金融危機が世界実体経済に悪影響を及ぼし、予想を遙かに超えるスピードと規模で景気は悪化してまいりました。当社グループの関連する事務機器業界におきましても、経済全般の減速で国内外の需要が低調に推移して、販売競争の激化を招きました。

また、第2四半期以降の急激な円高は、輸出企業の業績悪化に一層の拍車をかけ、今までに無い厳しい経営環境となりました。

このような状況下で、当社グループの通期の連結売上高は、前回予想の153億円を3.7%上回る158億60百万円となる見込みであります。

営業利益は、上半期での原油価格等資源価格の高騰や下半期での円高の影響をまともに受けましたが、売上高の増収により、前回予想の9億円を31.5%上回る11億83百万円となる見込みであります。

経常利益は、営業利益の増加と前回予想の為替差損4億70百万円は、2億55百万円減少し2億14百万円の計上となる見込みで、5億40百万円を102.7%上回る10億94百万円、当期純利益は、法人税等6億12百万円、法人税等調整額3億11百万円の計上はありましたが、前回予想の1億10百万円を33.6%上回る1億46百万円となる見込みであります。

(2) 個別

通期の個別売上高は、前回発表とほぼ同額の98億34百万円となる見込みであります。

営業利益は、デジタルプリンタの販売価格競争の激化がコストアップを招き前回予想の3億50百万円の損失から5億30百万円の損失、経常利益は、営業損失の増加となりましたが、前回予想よりも円安に推移して為替差損4億11百万円(前回発表時予想レート1ドル=¥90,1ユーロ=¥125)は3億65百万円減少して、45百万円(今回修正実績レート1ドル=¥98.23,1ユーロ=¥129.84)の計上となる見込みであるため、前回予想の6億90百万円の損失から4億42百万円の損失となる見込みであります。

当期純利益は、当期の業績及び来期の業績を踏まえて、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、全額を取崩すこととし、法人税等調整額2億43百万円を計上したこと等により、前回予想の5億10百万円の損失から7億74百万円の損失となる見込みであります。

2. 繰延税金資産の取崩について

当期の業績予想において、繰延税金資産の回収可能性について将来の十分な課税所得が見込めないことから、繰延税金資産の全額取崩を行い、法人税等調整額に2億43百万円(損失)を計上いたします。

以 上